

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	整形外科学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(2)	時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年	学期及び曜時限	前期	教室名	902教室		
担 当 教 員	小嶋 高広						
実務経験とその関連資格	理学療法士として金沢整形外科クリニック(滋賀県)に7年間、丸太町リハビリテーションクリニック(京都府)に3年間勤務。 主に整形外科疾患・スポーツ障害を有する症例患者を対象とした外来リハビリテーションに従事。年間100症例以上を担当。 筋電図を使用したバイオメカニクス領域の研究発表・論文が複数。 認定理学療法士(運動器)、修士号(スポーツ健康科学)取得。						
《授業科目における学習内容》							
整形外科学の学域は、理学療法士にとって最も重要な領域の一つである。本講義では、理学療法士にとって必須となる整形外科の考え方や整形外科疾患の基礎知識を修める。理解した内容はすぐに臨床で実践できるように臨床現場で働いている感覚で評価・治療を実践できることを到達目標とする。							
《成績評価の方法と基準》							
前半・後半確認テスト(20%)、定期試験(80%)により総合評価を行う。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
中村利孝ら(監)標準整形外科学第15版, 医学書院, 2023 ※参考図書は適宜提示する。							
《授業外における学習方法》							
①教科書の通読による自己学習(予習, 復習) ②配布資料(授業スライド, 復習プリント, 前半・後半確認テスト)に沿った自己学習							
《履修に当たっての留意点》							
①解剖学, 生理学の知識を基に理解が深まるので, 大いに復習すること。 ②近い将来, 臨床で出会う症例を想像しながら臨み, この授業で学ぶ知識, 技術を自分のものとしていただきたい。							
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容		
第1回	授業を通じての到達目標	整形外科・スポーツ理学療法について理解する		教科書	教科書の通読		
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション 整形外科・スポーツ理学療法の実際					
第2回	授業を通じての到達目標	整形外科・スポーツ理学療法について理解する		教科書	教科書の通読		
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション 整形外科・スポーツ理学療法の実際					
第3回	授業を通じての到達目標	創と傷、捻挫、脱臼、骨折について理解する		教科書	教科書の通読		
	各コマにおける授業予定	外傷学総論(1) 創と傷、捻挫、脱臼、骨折					
第4回	授業を通じての到達目標	創と傷、捻挫、脱臼、骨折について理解する		教科書	教科書の通読		
	各コマにおける授業予定	外傷学総論(2) 創と傷、捻挫、脱臼、骨折					
第5回	授業を通じての到達目標	初期治療(整復、固定、手術)、災害医療について理解する		教科書	教科書の通読		
	各コマにおける授業予定	外傷学総論(3) 創と傷、捻挫、脱臼、骨折					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	皮膚損傷、筋・腱損傷、血管損傷、靭帯損傷、区画症候群について理解する	教科書	教科書の通読
	各コマにおける授業予定	軟部組織損傷(1) 皮膚損傷、筋・腱損傷、血管損傷、靭帯損傷、区画症候群		
第7回	授業を通じての到達目標	皮膚損傷、筋・腱損傷、血管損傷、靭帯損傷、区画症候群について理解する	教科書	教科書の通読
	各コマにおける授業予定	軟部組織損傷(2) 皮膚損傷、筋・腱損傷、血管損傷、靭帯損傷、区画症候群		
第8回	授業を通じての到達目標	骨粗鬆症について理解する	教科書	教科書の通読
	各コマにおける授業予定	代謝性骨疾患(骨粗鬆症を中心に)		
第9回	授業を通じての到達目標	骨粗鬆症について理解する	教科書	教科書の通読
	各コマにおける授業予定	代謝性骨疾患(骨粗鬆症を中心に)		
第10回	授業を通じての到達目標	熱傷・感染症について理解する	教科書	教科書の通読
	各コマにおける授業予定	熱傷・感染症		
第11回	授業を通じての到達目標	関節リウマチとその類縁疾患について理解する	教科書	教科書の通読
	各コマにおける授業予定	関節リウマチとその類縁疾患(1) 関節リウマチ概説①病態評価		
第12回	授業を通じての到達目標	関節リウマチとその類縁疾患について理解する	教科書	教科書の通読
	各コマにおける授業予定	関節リウマチとその類縁疾患(2) 関節リウマチ概説①病態評価		
第13回	授業を通じての到達目標	変形性関節症について理解する	教科書	教科書の通読
	各コマにおける授業予定	変形性関節症(1) 総論①病態生理		
第14回	授業を通じての到達目標	変形性関節症について理解する	教科書	教科書の通読
	各コマにおける授業予定	変形性関節症(2) 総論①病態生理		
第15回	授業を通じての到達目標	変形性関節症について理解する	教科書	教科書の通読
	各コマにおける授業予定	変形性関節症(3) 総論①病態生理		